



## 二井宿の酒米作り

二井宿で酒米を作っております志賀良弘と申します。現在高島町酒米研究会の会長をさせて頂いております。本日は、酒米について皆様の前で話をさせていただく機会を頂きまして誠に有難うございます。

大河原さんから電話がありまして、本当はお断りしたかったのですが、来週ここで話をする米鶴の須貝常務から大河原さんから言われたらNoはないだろうといわれましてお引き受けした次第です。ロータリー会員の中には蔵元の社長さんがお二人いらっしゃいますし、日本酒の事は米の事も含め皆さん詳しくいらっしゃいますので、私が今までやってきたこと等をお話させていただきます。

私は、昭和32年生まれの66歳です。昭和51年の春に上山農業高校を出てすぐに農業につきました。米とぶどうを栽培していました。夏場毎日二井宿の奥で仕事をしています、ストレスがたまります。ですから冬ぐらいは都会へ出稼ぎに行つて発散したいなと思っていたのですが、当時はオイルショックで景気が悪く、決まっていた働き先がキャンセルになり、仕事を探していた時に、ちょうど米鶴で季節の社員を探していることを友人のお父さんから聞き、紹介いただき面接と作文の試験だったと思いますが入社させて頂き、62歳までお世話になりました。その途中で酒米と出合いこれ40年酒米を作っています。今考えると、オイルショックで出稼ぎに行けなくなり、米鶴に入社したあの時が私の人生にとって一番のターニングポイントだったと思います。

ここで、今私がどんなところでやっているか、一昨年ですがYTSのニュースゴジダスで特集を組んでもらった映像がありますので、見ていただいた方がわかりやすいと思いますので、10分間位ですので、見てください。この映像が流れたのが7月14日でしたが、米鶴の会長がお亡くなりになった日でした。会長のお姿もありましたが、あの表彰式は吟功績賞といひまして、吟醸酒ブームの仕掛け人と言われる篠田次郎氏が主宰する吟醸酒研究機構が吟醸酒の発展に関係した人を表彰するものでした。東京の神田辺りだったと思いますが、テレビのカメラが同行していたとは記憶がなく、アナウンサーにライブラリーを探したら志賀さんにヒットしましたと言われて驚きました。

酒米と普通の食米との違いは、酒を造るために開発された米を酒造好適米、酒造適正米と呼びます。ビデオにもありましたが、大きく違うところは粒が大きく、心白と言って粒の中心が白く濁っていることです。草丈は食米よりは高いですが、品種改良により以前よりは丈は短くなり、粒は大きくなっています。現在は、どうすれば粒が大きくなるか、心白が出やすいか、かなり研究が進んでいますが、天候に影響される面が大きく、なかなか思うようにはいかない現状です。

私がこの業界に入ったころは、米鶴の大吟醸は山田錦の50%精米でしたが、その当時山形県の好適米は、改良信交という米でしたが、実際には寒河江あたりで藁草履の原料として作付けされているだけという現状でした。山形は酒米に関しては後進県でした。遅ればせながら、昭和59年に山形県酒造適正米生産振興対策協議会が発足し、現在に至ります。

そもそも、なぜ二井宿で酒米なのかですが、二井宿に米鶴があり、私がいたからです。

今年は、過去に例のない猛暑でした。近年、地球温暖化の影響で温度が上がっていますが、昭和50年代東北は度重なる冷害に悩まされていました。二井宿も峠を越えてくる「やませ」のおかげでササニシキの栽培がままならず、当時ササニシキが全盛で、ササニシキができない二井宿は米つくりをやめて、牧草を播いた方がいいなどと言われ、米つくりが好きな私は悔しくてなりません。その時、米鶴の梅津社長と、われわれ、農業青年とで「地産地消」「適地適作」について話し合い、二井宿での酒米作りがスタートしました。当時、農業と地元企業とのタイアップで酒米生産を話題になった事を覚えています。

山形県で開発され現在栽培されている好適米は、出羽燦々、出羽の里、雪女神です。今年の全国新酒鑑評会には、県内の多くの蔵元が雪女神の酒を出品して金賞を受賞し久々の日本一に輝いたことは酒米生産者としてとてもうれしいことです。ちなみに、酒米としてもっとも有名な山田錦ですが、昭和11年に兵庫の試験場で開発された米です。これだけ品種改良の技術が進んだ現在でも、90年前の品種を超えられない。しかし雪女神は超えてくれそうな気がする品種です。

ここで、亀粋について少し話をさせていただきます。私はもともと米作りが好きでしたが、酒米と出会って益々のめりこんでいきました。自分の小さい田んぼに様々な酒米の品種を植えて比較研究をやったりしていました。親父からは、借りた田んぼで遊んでると言われ叱られていました。もともと家は農家ではなく、私で4代目ですが初代は畳屋で、本当に小さな農家でしたので、親父の言うことももともとですが、しかし好きなことはなかなかやめられませんでした。その試験している品種の中に、亀の尾がありました。穂が出たとき偶然亀の尾の中に数本背の高い穂を見つけました。偶然です。もしこの時見逃していたら亀粋は存在していません。その時印を付けて置き、実ってから殻をむいたら、なんと、心白が見事に入っていました。次の年その種を作付けすると同じように粒が大きく心白がはっきりした米でした。その後数年間かけて、その特徴が固定したことを確認して、農水省へ品種登録を申請しました。本来個人でやることではないので、なかなか受理してもらえませんでした。何度か手直しをして受理してもらいました。その後、青森と埼玉の農業試験場で試験栽培され、平成5年8月3日に品種登録されました。山形県で個人でコメの品種登録は戦後初で、酒米としての個人登録は日本で最初との事でした。

米鶴酒造では、昭和58年度より、五百万石、山田錦の試験栽培を始める。翌59年には二井宿を中心に美山錦の栽培試験、翌年より本格的に栽培。昭和62年に県内で最初に二井宿酒米研究会を発足する。平成3年に高島と二井宿両研究会を合併して高島町酒米研究会を設立。会員数40名面積1758aでスタートしました。

最初の研究会設立から40年近く経過しました。会員の高齢化、離農等があり、現在の会員数は14名作付面積は変わらず18町歩です。研修会、先進地の視察研修等様々な活動を行ってきました。途中から酒米コンテストが開催されるようになりましたが、なかなか入賞できず須貝常務からは、老舗の研究会がなぜ賞をとれないんだとお叱りを受けることもありましたが研修の成果か、栽培技術が向上し、最近では安定して入賞できるようになりました。しかしながら、栽培者の減少が収まらないのが現状で、どんな形で改善できるかが課題です。私自身定年直後は、作付面積が4町歩弱で、年金を貰いながらのんびりと酒米を作つてと思つていましたが、数年で今は7町歩を越えました。個人としては限界です。法人化も視野に入れながら、若者の参加を待ち望んでいます。私自身できる限り酒米に関わつて生きたいと思つている今日この頃です。

次々回の例会 [ 2670 th ] 2023. 11. 11-12

国際ロータリー2800地区  
地区大会  
やまぎん県民ホール



## WEEKLY REPORT

会長 鈴木 司郎 幹事 高橋 雅明 例会 毎週木曜 12:30~13:30 旅館 エビスヤ 事務局 山形県高島町高島911-2-2F tel 0238-52-5440 fax 52-5444

次回の例会 [ 2668 th ] 2023. 10. 26

米鶴酒造株式会社  
常務取締役 須貝 智氏

本日の例会 [ 2667 th ] 2023. 10. 19

高島町酒米研究会  
志賀良弘氏

- ・点鐘12時30分 金子良弘 エレク
- ・ロータリーソング 四つのテスト
- ・ それでこそロータリー
- ・ソングリーダー 梅津陽一郎君
- ・S A A 大浦英樹君

会長あいさつ

金子良弘 会長エレク

皆様こんにちは。

本日は、鈴木会長がお休みのため代わりに会長あいさつをさせていただきますのでよろしくお願い致します。

はじめに本日のゲストスピーカーの方をご紹介します。

「高島町酒米研究会 志賀良弘」様でございます。お忙しい中お引き受けいただきありがとうございます。後程ご講話をいただきますのでよろしくお願い致します。

10月15日には、ロータリー奉仕デーということで河川清掃活動大変お疲れ様でした。あいにくの雨で大変だった事と思いますがありがとうございます。また、その後には移動例会の芋煮会ということで奉仕活動の労いもできてよかったのではないかなと思つてるところです。

話は、変わりますが皆さんも気になるマツタケ情報を「たねや商店」さんからお聞きしたのでお伝えしておきます。今年は豊作とまではいかないけれどそれなりに採れるのではないかと、という事でした。

それでは期待を込めながらお食事をおとりください。ありがとうございました。

## スマイルBOX

・志賀さんとは会社で40年来のお付き合いです。業界ではとても有名な方です。

梅津陽一郎君

・ロータリー奉仕デーありがとうございます。参加の皆様の団結力に感動です。

高梨 正章君

・芋煮会、準備から後片付けまで皆様のご協力が無事開催できました。

島崎 裕司君

・5人目の孫が10月7日に誕生しました。車を新しいのに変えました。

金子 良弘君

・志賀さんにはスピーカーを快くお引き受けいただきました。ありがとうございました。

大河原 章君

・松茸が採れました。今一生懸命採っている最中です。

小平 和広君

## 《事務局からのお知らせ》

- ・11月16日 移動例会「そば例会」
- ・11月23日 休会
- ・11月30日 ゲスト 高島町国際交流協会  
会長 安藤 淳氏・事務局 大浦博子氏
- ・12月14日 移動例会「クリスマス」
- ・12月21日 クラブ総会
- ・12月28日 年末年始休会

## 《出席報告》

会員数 45名 出席者数 17名 出席率 37.78 %  
前回修正45名 出席者数 45名 出席率 100.0 %

次回の例会 [ 2669 th ] 2023. 11. 2

会員  
草話 小平和広君